

ホームページへの掲載		
予定	2月17日	掲載予定

## 岐阜県立華陽フロンティア高等学校

校長 林 雅 浩  
学校住所 岐阜市西鶉6-69 電話 058-275-7185

1 会議の名称 令和元年度 岐阜県立華陽フロンティア高等学校 学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成

評議員	廣瀬 富久夫	本校同窓会長
	前田 貴子	本校地域創生キャリアプランナー
	松波 克臣	鶉自治連合会長
	南谷 東子	人権擁護委員
	山口 永真	通信制課程卒業生

(委員名は五十音順)

学校側	林 雅浩	校長
	堀 修	副校長
	増田 泰志	定時制課程教頭
	高田 幸世	通信制課程教頭
	高橋 明	事務部長
	平松 均	定時制課程教務主任
	山田 きよみ	通信制課程教務主任

3 会議の目的 令和元年度の教育活動についての自己評価の報告と今後の課題について、ご意見、ご提言をいただく。

4 会議の開催 令和2年1月28日(火) 18:30~20:00 華陽フロンティア高等学校会議室  
委員5人、学校側7人が出席

### 5 会議の概要

◎「高校生活を振り返って」と題して、卒業予定の代表生徒4人(定時制2人、通信制2人)の発表を聞いた後、会議を開催。

テーマ:「いつでも・だれでも・元気に・いろいろ学べる」活力ある学校経営の推進のために

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校評議員の意見に対する対応について(副校長)
- (3) 本年度教育活動についての自己評価の報告と今後の課題について
  - ①定時制課程(定時制課程教務主任)
  - ②通信制課程(通信制課程教務主任)
- (4) 学校評議員からのご意見・ご感想

意見1 多様な生徒一人一人に対応していただいていることがよくわかる。不登校克服率が高く、嬉しい。学校が生徒を一人にしないことが大切で、生徒にとって学校が唯一の安らぎの場と思えるようにしてあげてほしいし、生徒には学友をつくってほしい。卒業後は様々なことが経験できるはずである。次のステージでも頑張ってもらいたい。

意見2 ホワイトボード、プロジェクターの導入により、生徒が授業に集中できるようになったとのことで、授業中に話を聞き逃してしまっても、視覚情報でわかるのはありがたい。また定時制の二人担任制は非常に良い。学校でも社会規範を学ばせることは大切である。

意見3 子どもたちには、今後も社会（大人）が見守っていることを伝えていくべきである。また、先生の仕事の負担が増えていないか心配な面もある。

意見4 不登校生徒の減少は素晴らしい。生徒と教員の信頼関係の構築がしっかりできていると感じる。しっかり挨拶ができる生徒がいてとてもよいし、生徒の表情も明るい。学校で、仲間ができていることも大切なことである。

意見5 不登校克服率の数字は素晴らしい。SST（ソーシャルスキルトレーニング：社会生活技能訓練）の効果だと感じる。高校時代に自習室で学んだ経験はとても大きい。ぜひ今後も残してほしい。

#### 質疑応答

Q 進路未決定で卒業した生徒への対応は何かあるか。

A 学校に連絡があれば相談にのっているが、生徒にとっては敷居が高いのが現状である。卒業前にハローワークを紹介したり、高卒の生徒を引き受けている機関に支援をしてもらったりしている。

## 6 会議のまとめ

第2回学校評議員会では、第1回学校評議員会での意見に対する対応状況について学校側から報告をした後、定時制、通信制のそれぞれの教務主任が各分掌の自己評価を踏まえ説明を行ったうえで、本校の教育活動に対するご意見、ご感想をいただいた。

今回の貴重なご意見、ご提言並びにご指摘いただいたことを真摯に受け止め、来年度の本校教育活動や環境整備に取り入れるとともに、課題については早々に改善する方向で検討し、生徒一人一人にとってよりよい学校となるように取り組んでいきたい。